

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	文化振興課
課名	まちづくり推進課

予算	款	項	目	決算書
	2	1	12	74 頁

目 名
文化振興費

事務事業名称
文化振興施設管理事業

1. 概要

目的	文化施設(総合文化センター(エイトピアおおの)、朝倉文夫記念館、徳田白楊記念館)の管理を通じて文化活動の拠点施設として市民が行う主体的な文化活動の推進と支援を図る。	対象	市民ほか利用者
事業概要	<p>○豊後大野市総合文化センター管理事業・・・施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民が利用しやすい文化施設環境の整備を図った。</p> <p>H22年度繰越分:エイトピアおおの整備事業 (住民生活に光をそそぐ交付金事業) ロールスクリーン取替・直流電源装置・屋根改修・音響設備改修工事 42,747千円 (市単独) 舞台吊物設備減速機オイル取替工事 3,465千円</p> <p>○朝倉文夫記念館公園管理事業・・・市民が利用しやすい文化施設環境の整備、朝倉文夫の作品・資料の管理、収集等を実施。</p> <p>H22年度繰越分:朝倉文夫記念公園環境整備事業 建築後20年が経過し老朽化による雨漏り等作品の展示・収蔵に支障をきたしていたので、休館し改築工事を実施。 また、第1展示室から第4展示室にかけて空調整備をおこなった。 (住民生活に光をそそぐ交付金事業) 朝倉文夫記念館改修工事 53,100千円 (市単独) 朝倉文夫記念館改修工事 7,158千円</p> <p>○徳田白楊記念館管理事業・・・指定管理により施設の有効利用及び安全確保に努めた。</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	豊後大野市総合文化センター管理事業	利用者数 48,895人 委託料	111,004	101,301	21,962		31,591	47,748	3
経常	朝倉文夫記念公園管理事業	入場者数 4,221人 委託料	75,302	73,638	52,344		10,585	10,709	3
経常	徳田白楊記念館管理事業	利用者数 134人 委託料	351	344				344	1
廃止									
経常	幸寿美術館管理事業								
臨時	エイトピアおおの整備事業								
臨時	朝倉文夫記念公園環境整備事業								
臨時	外に出る美術館事業								
計			186,657	175,283	74,306	0	42,176	58,801	

2. 指標設定

成果指標	指標名	年間利用者数	目標年度 H27	指標の設定理由			
	数値	66,500人		総合計画/後期基本計画において、基本施策(5-2-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a 総合文化センターの利用者数	b 朝倉記念館の来館者	c 講演会等の実施	d		
	数値	目標 63,000人	目標 3,500人	目標 5回	目標		

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H21	H22	H23
年間利用者数	人	54,318 人	61,139 人	53,116 人
	%	81.7 %	91.9 %	79.8 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 総合文化センターの利用者数	人	50,875 人	56,625 人	48,895 人
	%	80.8 %	89.9 %	77.6 %
b 朝倉記念館の来館者	人	3,443 人	4,514 人	4,221 人
	%	98.4 %	129.0 %	120.6 %
c 講演会等の実施	回	5 回	5 回	6 回
	%	100.0 %	100.0 %	120.0 %
d				

4. 課題と対応

課題
経年劣化により修繕箇所が多くなっている。利用者の利便性や安全確保、また、作品の管理等のため修繕が必要であるが、限られた予算の中でどう対応していくか検討が必要。文化施設としての利用者、来館者が減少している。
対応(改善点等)
朝倉記念館の公園管理については、地域やボランティアの協力を得る取り組みを行っており今後も進めていく。また、総合文化センターは、指定管理導入にむけ調査検討を行う。また、利用しやすい環境整備に努める。

5. 事業費・・・H21～H23(決算額)、H24(予算現額)

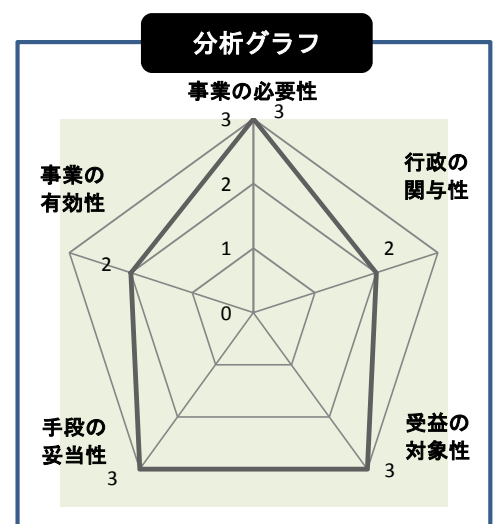
決算額(千円)		H21	H22	H23	H24
		81,801	98,263	175,283	69,943
うち経常経費		78,138	77,470	66,476	69,943
財源内訳	国費	3,663	16,212	74,306	
	県費				
	市債				
	その他	9,634	10,775	42,176	9,062
	一般財源	68,504	71,276	58,801	60,881
うち経常		68,504	66,695	56,464	60,881
事業費に係る人件費		16,725	17,168	8,600	8,588

6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
改修工事費を除いては、削減計画に沿って執行する。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民に芸術に触れる機会を提供したり、郷土作家の貴重な作品を財産として管理し後世に引き継ぐことは重要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 利益につながらないものや公益性のあるもの、朝倉作品は行政の関与、管理が必要である。施設・公園管理は民間でも可能である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 利用者が快適に観覧や利用ができるように施設の維持補修等を行った。目的達成のために適切な手段であった
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 期待したほどの成果が上がっていない。



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、市民との協働による施設管理を図ると共に、公共施設の見直し方針に基づき事業を進めること。(徳田記念館の無償譲渡、エイトピアの指定管理)